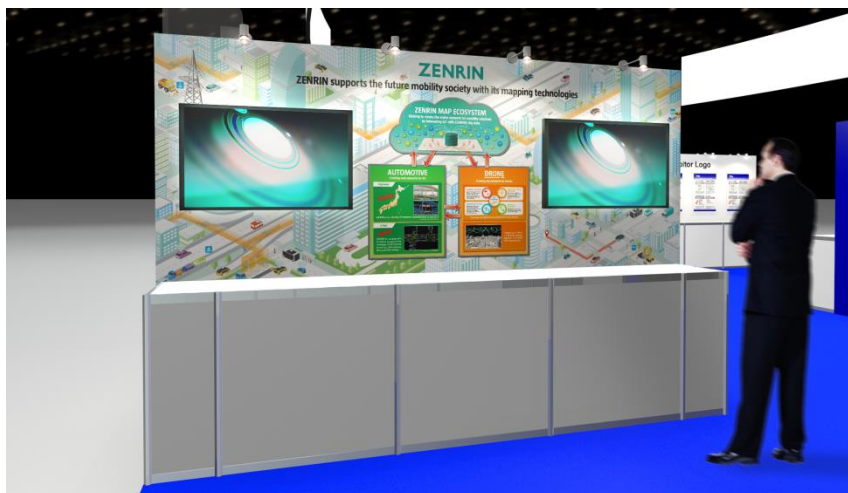


## 「第 25 回 ITS 世界会議コペンハーゲン 2018」に出展 循環型プラットフォーム構想「ゼンリンマップエコシステム」を紹介 会期:2018 年 9 月 17 日(月)～9 月 21 日(金)

株式会社ゼンリン(本社:福岡県北九州市、代表取締役社長:高山善司、以下ゼンリン)は、2018 年 9 月 17 日(月)～9 月 21 日(金)まで、デンマーク・コペンハーゲンで開催される「第 25 回 ITS 世界会議コペンハーゲン 2018」において、日本企業の展示エリア「JAPAN PAVILION」内にブースを出展します。新たなモビリティ社会に欠かせない地図ソリューション及び、循環型プラットフォームを実現する為に、様々な IoT<sup>(※1)</sup> デバイスからビッグデータを連携・活用することでリアルタイムな地図更新と情報提供を可能にする「ゼンリンマップエコシステム」の構想を紹介します。



### ■ 出展内容

#### (1) 自動運転／MaaS<sup>(※2)</sup> 社会実現のサポート

ゼンリンは 2019 年に日本全国の高速道路、自動車専用道路の「高精度 3 次元地図」のリリースを予定しています。さらに、現在、「高精度 3 次元地図」の一般道へのカバレッジ拡大を目指し、研究開発を進めています。また、ゼンリンは住宅を含めた一軒一軒の建物の到着地点(出入口)情報や日本全国の詳細な道路規制情報を保有しており、それらを活用して「MaaS」などの新たなサービスの実現を支援します。

#### (2) ドローンの飛行を支援する新たな空間管理技術

ゼンリンが技術開発を進めている「空の道」は、飛行空域と周辺の障害物や気象などの情報が連携することにより、安全飛行を支援する仕組みです。ドローンが安全・安心に飛行できる社会の実現を目指し、標準化活動や研究開発に取り組んでいます。

#### (3) 循環型プラットフォーム「ゼンリンマップエコシステム」

上記のサービスを実現する為、様々な業界と連携し、多様な IoT デバイスからビッグデータを収集・分析・解析・提供する情報循環型プラットフォーム「ゼンリンマップエコシステム」の構想を紹介します。地図をベースとしたリアルタイム且つシームレスな位置情報提供により、モビリティ社会の実現に貢献します。

(補足資料)

■ 展示会概要

名 称	第 25 回 ITS 世界会議コペンハーゲン 2018 (25th ITS World Congress Copenhagen 2018)		
会 期	2018 年 9 月 17 日(月)～9 月 21 日(金)		
会 場	The Bella Centre	ゼンリン ブース位置	JAPAN PAVILION ブース内
	<a href="https://itsworldcongress.com/congress/venue/">https://itsworldcongress.com/congress/venue/</a>		
主 催	ERTICO 欧州委員会	ITS 世界会議 公式サイト	<a href="https://itsworldcongress.com/">https://itsworldcongress.com/</a>

※1 IoT(Internet of Things): あらゆるものがインターネットを通じてつながることによって実現する新たなサービス、ビジネスモデル、またはそれを可能とする要素技術の総称。

※2 MaaS(Mobility as a Service): すべての交通手段による移動をシームレスな 1 つのモビリティサービスとしてとらえた移動の概念。

※ 記載されている社名、商品名等は、各社の登録商標、または商標です。